

第9回京北地域小中一貫教育校検討協議会摘録

- 日 時 平成30年3月13日(火) 19:30~20:10
- 場 所 京北合同庁舎 大会議室
- 出席者 検討協議会メンバー22名(3名欠席), 事務局及び関係職員等18名
- 傍聴者 8名
- 配布資料 資料1 第8回(12月13日)の協議内容
- 資料2 第5回通学安全検討部会の内容について
- 資料3 京北地域小中一貫教育校の「校名」について
- 資料4 施設整備に係る工事スケジュール(想定)

□議事要旨

1 開会

2 前回の協議内容の確認

前回の協議内容について, 資料1に基づき, 教育委員会から説明を行い, 確認された。

3 第5回通学安全検討部会の内容確認

<報告等>

12月13日に開催された第5回通学安全検討部会について, 資料2に基づき, 教育委員会から報告を行うとともに, 今後, できるだけ早い時期に通学シミュレーションを実施していく旨説明を行った。

<質疑応答>

なし

4 校名の選定について

<説明>

校名案の検討の進め方について, 資料3に基づき, 教育委員会から説明を行った。

<質疑応答>

- 地元住民が各々考え応募してもらったものを, 学識経験者に見てもらう必要はあるのか。地元住民にとって愛着のある校名を, すべて地元住民で考え決めるべきである。
- 学識経験者によって, 地元住民の意向に沿わない校名案が選定されると具合が悪い。
- (教育委員会) 地元住民の皆様に公募で案を出して頂き, それを検討協議会で議論のうえ, 一定数に絞り込む。次に, その絞り込んだ案を基に, 学識経験者は意味付け・根拠を示した複数の校名候補の選定作業を行う。そして, 学識経験者によって選定された複数の校名候補を, 改めて検討協議会の場で, 意味付け・根拠の内容も含めて議論いただき, 最終選定していただくという流れである。これまでの統合の事例を踏まえて, 資料3のとおり, 検討方法の一つの案として提案させて頂いた。校名の意味付けも含めて, 学識経験者に作業

を依頼せずに、すべて検討協議会の皆様で考えて頂いても良い。

- **資料3**に記載の統合校（開晴・凌風・東山泉・下京雅・向島秀蓮）の校名選定理由を読むと、どれも素晴らしいものである。学識経験者には、応募用紙に書かれた提案理由、京北地域住民の思いを十分尊重し、京北に相応しい校名候補と意味付けを検討していただきたい。
- （教育委員会）京北地域住民の方々の思いが十分尊重された校名となるよう取り組んで参りたい。本日出されたご意見・思いは、学識経験者にもしっかりと伝える。

<確認・決定事項>

- 地域住民に親しみと愛着のある学校づくりを目指して、幅広い意見を収集するため、地域住民等を対象に公募を実施する。
- 応募いただいた校名案を検討協議会で一定数に選定し、それらを基に学識経験者に最終校名候補として「3～5案に選定」と「各候補の意味付け」を依頼する。学識経験者は、京都市立学校の国語教育に精通した校長等の教員や、教育委員会の国語科指導主事等とし、選任は事務局が行う。
- 検討協議会で学識経験者の意見を踏まえて協議し、地元案として最終決定のうえ、当該地元案を教育委員会に要望する。
- 次回の検討協議会で、具体的な公募方法について検討する。

5 施設整備について

<説明>

京北ふれあいセンター（元周山小）等解体撤去工事終了の報告と、今後の施設整備に係る工事スケジュールについて、**資料4**に基づき、教育委員会から説明を行った。

<質疑応答>

- 平成31年1月の新校舎建設工事に着工するまでに、新校舎の概要に関して、お知らせ等で住民に周知していただきたい。
- （教育委員会）新校舎の概要に関して改めてお知らせさせて頂くとともに、法面・ロータリー等造成工事（平成30年6月）や、新校舎建設工事（平成31年1月）の着工前には、工事説明会の開催を予定している。

- 法面・ロータリー等造成工事と新校舎建設工事の工事期間が平成31年1月から重なっているが、これらの工事を並行して行うということか。
- （教育委員会）並行して工事を行う。

- 平成32年4月新校開校後、プール新築工事と既存体育館（現周山中体育館）改修工事が完了するまでの間、プールの授業や体育館での活動等はどこで行うのか。
- （教育委員会）開校1年目のプールの授業は、京北第一小学校のプールを使用する予定である。体育館は新校舎とともに整備する新校の体育館を使用する。

- 新校舎建設工事の進捗に応じて、現場見学会を開催する予定はあるのか。
- (教育委員会) 工事期間中は、安全管理上、現場を見学頂くことは困難なため、適宜工事の進捗について報告させて頂く。新校舎しゅん工後、検討協議会メンバーをはじめ、地域の皆様にもお披露目する機会を設けたいと考えている。

- 3小学校の跡地活用に関する議論の具体的なスケジュールについて聞きたい。
- (代表) 開校まで2年あり、学校教育活動に支障がないよう見守りながら、今後、検討協議会の場ではなく、京北自治振興会と6自治会を中心に具体的な活用方策について検討協議し、教育委員会に要望していきたい。

<確認・決定事項>

- 施設整備に係る工事は、資料4のスケジュールを基に進めていく。

6 次回の開催について

第10回検討協議会は6月頃に開催する。日程等が決まれば、案内文を配布する。